

校長室 だより

平成27年 11月17日 (火)

羽咋市立瑞穂小学校 No. 7



# 共 育

11月に入りました。校庭の周りにはヤマボウシやハナミズキの枯れ葉が風を受けて舞い散っています。枯れ葉集めの瑞穂カストーディアルを進んでやってくれる子どもたちのお陰で、心がホッとになり寒さも忘れてしまいます。今月は、「家庭学習」と通信機器の使用状況についてお話ししたいと思います。文部科学省が示した報告書の中に、教育効果の高い学校の特徴について、以下のような内容が示されました。

## □朝食等の生活習慣

- ・朝食を毎朝食べている。
- ・毎日同じぐらいの時間に寝ている・起きている。
- ・テレビ等を見る時間やゲームをする時間が少ない。

## □保護者自身の行動

- ・授業参観や運動会などの学校行事への参加

## □児童の学習習慣と学校規則への態度

- ・家で、自分で計画を立てて勉強している。
- ・学校の宿題をしている。
- ・学校の規則を守っている。など



## □読書や読み聞かせ

- ・保護者が子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- ・子供が小さい頃に絵本の読み聞かせをした。
- ・子供と一緒に図書館へ行く。

## □学校での学習指導

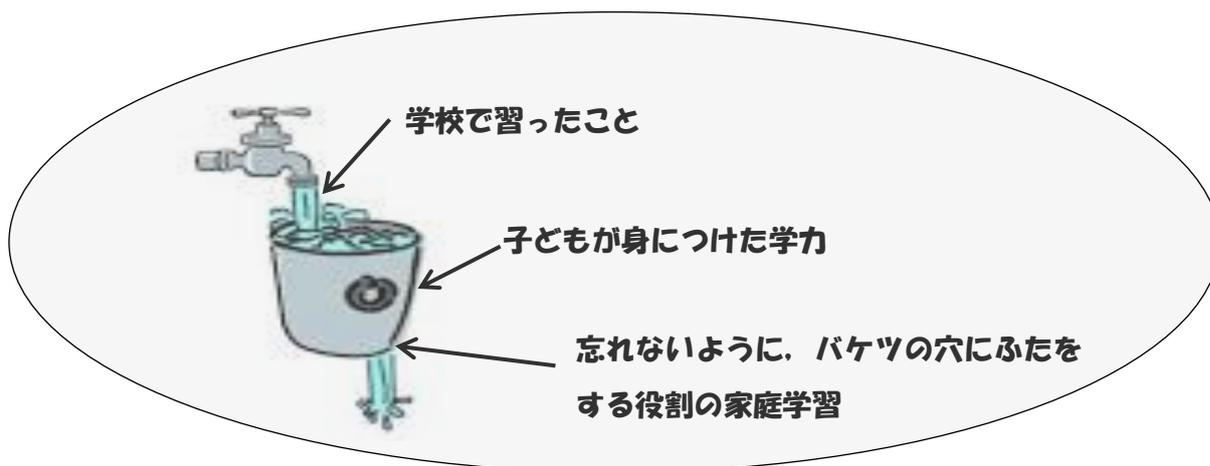
- ・自分の考え方を発表する機会が与えられている。
- ・家庭学習の課題のあたえ方について教職員の共通理解を図っている。

## □勉強や成績に関する会話・学歴期待・学校外教育投資

- ・保護者が子供と勉強や成績のことについて話をする。
- ・保護者の学歴への期待
- ・子供の教育投資が多い。

この結果から、基本的な生活習慣や保護者の意識が学校の教育効果に大きく影響していることがわかります。その中でも、ご家庭の協力がなくなかなか成立しないのが家庭学習です。本校では、どの学年も発達段階に応じて家庭学習を毎日出しています。家庭学習は学校で学習したことをしっかり理解し、定着させるための大切な習慣です。中でも音読や九九覚え、漢字や計算の練習などは学校の時間内で覚えきることが難しいものです。しかも、家で確実に身につけなければ、授業に参加する準備にも大きく影響するものです。

下の絵は家庭学習と授業の関係を水道とバケツに例えて示したものです。



人は覚えたことのうち、20分後に約42%を忘れ、1時間後では約56%、9時間後では約64%を忘れるそうです。(「エビングハウスの忘却曲線」より)

それをくい止めるのが家庭学習です。家庭学習の大切さについては、学校でも話していますが、ご家庭でも、お子さんにわかるようにお話ししていただき、生活リズムにあった方法で効率よく進められるようご協力をお願いします。

## ＜瑞穂小学校の通信機器使用の現状について＞

市教育委員会より、6月に行ったアンケート調査の結果が報告されました。

詳しくは11月24日(火)の教育講演会でお知らせしますが、スマートフォンやタブレット端末に加え、3DSなどゲーム機器にも通信機能が付いているものがあり、本校児童の所持率は市内他校に比べても高いという結果でした。

通信機器は子供にとって非常に興味をそそられるものでありますが、一方で危険性の高さも周知のことです。ネットいじめや危険サイトへのアクセスなど、人命にまで関わる問題が潜んでいます。また、メールのやり取りに時間を割き、家庭学習にも影響を及ぼしているという話も耳にします。これは、一家族だけでは対応しきれない大きな課題です。24日の講演会には多くの保護者の方にご参加いただき、連携して解決の糸口を見つける機会になればと考えています。

瑞穂の子供たちの健やかな成長のため、ご理解とご協力をお願いします。